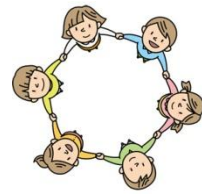


心の輪 11R



『出船の位置に』という資料を通して、
「日々の心構え」について考えました！



私は、次の人のことや、みんなのために一つ一つの行動に気をつけます。理由は、学年目標であるように、「一言一行」を良い方へ進めていきたいからです。自分中心ではなく、迷惑をかけないようにします。

次の時に、もしものことがあったら、その時、すぐに行動ができるように備えて、面倒なことでも後に回さずに、先にしておくことで、色々な所で行動が変わってくることを学んだ。

今日の話勉強して、何をやるにしても心構えはとても大切だということが分かりました。これから、たくさんすることに挑戦するにあたって、色々な心構えを大切にしたいです。

何事でも、先のことを考えずに行動するのではなく、後のことを考えて行動した方がいいということが分かった。また、「心が変わる」ということは、「行動が変わる」ということにつながっていると分かった。

先に面倒なことを選び、後に楽になった方が、「やろう」と思えると思った。日々の心構えは大切だなと思ったので、少しずつやっつけていこうと思えるようになった。

自分の心構えで、自分が楽な方を選ぶのではなく、人のために自分の力を使い、人として正しいことをすれば、今までの行動が変わり、人に対しての心も変わることが分かった。

今日の道徳を振り返り、学んだことは、出船の位置に靴やスリッパを揃えておくと、いざと言う時や、もしもの時に使えるということであり、そのためには、普段の心構えが必要だということが分かった。

生きていく上で、心身が健康であることは大切なこと。私たちは幼い頃から食べること、寝ること、運動することなどを繰り返して、成長してきた。そして、食事や睡眠、規則正しい生活の大切さも学んできた。だけど、中学生になって勉強や部活動で今までよりも忙しくなり、無意識のうちに、生活のリズムが乱れがちになっていることはないだろうか。体力を向上させるためにも、自分の目標を達成するためにも、規則正しい生活は必要だと思う。節度を守り節制することは難しいけれど、自分の意志で、自分なりのバランスのとれた生活を送っていききたい。



文部科学省資料
『心のノート』P.10より引用

saying

この人のひと言

人は繰り返して行うことの集大成である。
だから優秀さとは、行為でなく、習慣なのだ。

アリストテレス

■アリストテレス (前 384～前 322)

古代ギリシャの哲学者。プラトンの弟子。「形而上学」「ニコマコス倫理学」など。